

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 茶道文化施設(明々庵・赤山茶道会館)
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日

1. 総合評価

市 S	<p>【優れていると評価した点】 ○指定管理者が新聞社であることを活かし、自社紙面での広報及び記事の掲載を行った。また、雑誌社や放送局からの取材に随時応じることで、積極的な情報発信に努めており、評価できる。 ○コケ防止やボウフラ対策などを実施し、来館者にとって心地よい環境づくりを行った。 ○また、おもてなしに対する来館者の満足度も高く、「トワイライトエクスプレス瑞風」の参加者からも好評を得ており、施設の管理運営が適正になされていると言える。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 ○安全対策に関する研修や緊急時に備えた避難訓練を行い、職員の危機管理能力を高める必要がある。 ○また、城山公園(松江城)、小泉八雲記念館、興雲閣、武家屋敷等の周辺施設と連携を図り、入館者数増に向けた取り組みを行う必要がある。</p>
-----	--

指定管理者 A	<p>【優れていると評価した点】 ○各旅行会社との連携を密にし、茶道体験(お茶の礼儀作法のレクチャー等)を年間をとし実施したことや団体客に対しては、城下町松江の茶の湯文化などのガイドを積極的に行ったことが誘客につながった。 ○28年度の連休期間中は松江城の国宝化効果(特に4月・5月)が大きかったことから、4月・5月の落ち込みが大きく、明々庵の来館者数は95%に留まった。赤山茶道会館は自主事業が功を奏し118%となり、両施設では99.1%となった。 ○また、松江市内で唯一の立ち寄り先に選ばれた、JR西日本の豪華寝台列車「瑞風」が本格的に運用されたことも要因と考えられる。エルフル(広島県勤労者共済会)や茶道裏千家淡交会実施の「書道検定合格者」対象、皆生温泉(米子市)旅館組合のお得なクーポン協賛、JAFなどの提携も積極的に受け入れたことも大きかった。TVや雑誌の取材も今年度も積極的に受け入れ、全国に向けPRを行ってきた。 ○来館者の地域別では関東圏32%、近畿圏14%、外国人12%となるなど相変わらず県外客の来庵が目立った。 ○不昧公関連の新聞記事に2018年の「不昧公200年祭」のマークを使う効果で、地元からの観覧者も17%となった。 ○赤山茶道会館は秋の松江城大茶会で、初の取り組みとして野点席を設けるなど、誘客を図る一方で、各流派の皆様へ貸館を促進したことなどから利用者数が増えた。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 ○課題の避難誘導や人工呼吸訓練等を実行できなかった。危機管理能力を高めたい。</p>
---------	---

2. 施設利用の増減について

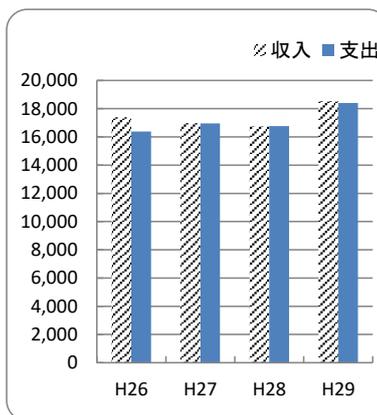
総括	<p>○使用者数は、明々庵が10,098人(対前年比5.1%減)、赤山茶道会館が2,831人(同20.4%増)、全体では12,929人(同0.5%減)となった。 ○他の松江城周辺の観光施設においては、平成27年度の国宝化効果の沈静化により利用者数減が見られる中で、使用者数を維持したことは評価できる。 ○収支は黒字となっており、指定管理者による適切な管理運営、各種メディアを通じた情報発信を行い、利用促進を図ったことが要因と考えられる。</p>
----	--

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 茶道文化施設(明々庵・赤山茶道会館)
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日

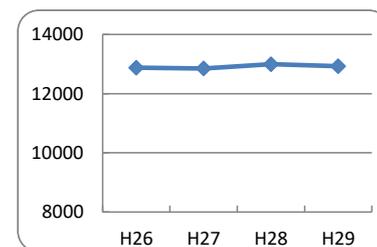
(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度	H26	H27	H28	H29	
施設の収支	収入	17,403	16,968	16,755	18,540
	うち指定管理料	13,873	13,302	13,282	8,866
	うち利用料	0	0	0	9,674
	支出	16,390	16,964	16,770	18,412
	差引	1,013	4	△ 15	128
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)	4,909	4,877	4,614	0
	支出	2,006	748	5,450	1,222
	うち市の修繕費	1,415	729	4,289	782



(2) 利用者の推移 (人)

	H26	H27	H28	H29
	12,877	12,849	12,996	12,929



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 当該年度の実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	明々庵年間入館者数	9,770	9,850	10,098	102.50%	103.40%
	赤山茶道会館入館者数	2,580	2,600	2,782	107.00%	107.80%
アウトカム	アンケート調査での、以下の質問項目における利用者の肯定的な回答の割合 「茶の湯文化に対する理解・関心が深まった」	70%	70%	100%		
				達成度平均	104.8%	105.6%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	<p>【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本旅行やJTBなどの旅行会社の個人を対象とした「茶道体験」の取り組みやJALパックなど年間を通し実施。 ○また6月から運用開始となったJR西日本豪華寝台列車「瑞風」の立ち寄り先に運ばれ、雑誌や、TVで取り上げられたことや、各旅行会社の関連商品が増えたのも大きな要因となった。 ○来年度も旅行会社とさらに連携を強化し、今年度を上回りたい。赤山茶道会館は自主事業を実施し利用者増につなげたい。 	<p>【達成度の原因・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅行会社と提携し、「茶道体験」をはじめとした企画を実施することで利用促進を図った。 ○また、雑誌社や放送局への情報提供を積極的に行い、施設のPRに努めたことも大きな要因と考えられる。

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 茶道文化施設(明々庵・赤山茶道会館)
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
207	①満足している 206件(99%) ②どちらともいえない 1件(1%) ③満足していない 0件(0%)	①良い ・不昧公の偉大さを実感できた。歴史に詳しくなくても、興味を抱いた。 ・抹茶も美味しく、心安らぐ時を過ごせた。 ・受付も説明もとても丁寧で良かった。 ②苦情 ・なし ③要望 ・なし

(4)住民サービス向上の事例

○地元の中中学生や高校生に校外学習や職場体験を通して、お茶の作法や茶の湯文化に親しみ、理解を深めてもらう機会を提供した。

3. 自主事業

総括	○お土産用として和菓子、茶道具の販売を実施。トワイライトエクスプレス瑞風のお客様専用のお菓子「瑞宝」も好評を得ており、松江の茶の湯文化に親しみを持っていただく良い契機となった。 ○恒例の明々庵記念茶会に加え、松江城大茶会を実施。大茶会の前には、「煎茶・抹茶の戴き方」講座を行う等、茶の湯文化の周知・発展に寄与した。
実施状況	○和菓子、茶道具の販売 ○茶会、文化講座の実施

4. 特記事項

○特になし

5. 今年度の目標・課題

○指定管理者が新聞社であることを活かし、今後も更なる情報発信に努めてもらいたい。
 ○また、城山公園(松江城)、小泉八雲記念館、興雲閣、武家屋敷等の周辺施設と連携を取りながら、効果的な利用促進を図る必要がある。